



あいさつ

会長 田中 幸子



田中幸子会長

昨年1月の能登半島地震、9月の豪雨被害と復興も足踏み状態です。被災地の皆様には、お見舞い申し上げます。

この様に地球的気候変動で、日本だけではなく、世界的に被害が出ており、食糧難や貧困といった状況にあります。

お金が無いからと、安易に「闇バイト」に手を出してしまい罪を犯してしまう。このような行動は取り返しがつかない状況に陥

つてしまいます。負の連鎖にならない様に、「更生保護女性会」のモットー、「ほつとけない」お節介精神で、地域社会の一員として活動して参りたいと思っております。

さて、川越市更生保護女性会も、コロナ禍で自粛しておりました、事業等も元に戻しつつ、会員相互の親睦をはかりながら活動しております。

今年度は、保護司の先生方に講話をいただき、保護司の役割や、更生への取り組み等、少しではありますが理解できたように思います。講話の中で、保護観察中は更生のための指導や生活、就労の手助けをしていただきますが、その後は地域でのサポートを受けながらの生活にな

るとの事。一度罪を犯してしまふと、なかなか地域でも受け入れられず、再び罪を犯してしまふ。再犯防止のためにも、更生保護女性会のサポート力が必要になってくるのです。

微力ではありますが、これからも保護司会と更生保護女性会とは、お互いに協力し、犯罪の予防や再犯防止のために「安心で安全な」地域づくりの一端を担い、「明るい社会」次世代を担う、子どもたちの「健全育成」を願う支援活動を拡げていきたいと思っております。他人事としてではなく、自分事として考える。相手を尊重する。常にこれを信条として、活動して参ります。

会員の皆様の御支援、御協力が必要れば出来ません。宜しくお願い申し上げます。



更生保護女性会綱領

私たちは、一人ひとりが人として尊重され、社会の一員として連帯し、心豊かに生きられる明るい未来を目指します

私たちは、更生保護の心を広め、次代を担う青少年の健全な育成に努めるとともに、関係団体と提携しつつ、過ちに陥った人たちの更生のための支えとなります

私たちは、知識を求め自己研鑽に励むとともに、あたたかな人間愛を持って明るい社会づくりのために行動します



保護司さんをお迎えして

9月17日、理事会の時に地区の保護司さんをお迎えしてお話を伺いました。

更生に向けての日頃の信頼関係の築きなど深いものを感じました。新しい歩み出しの報告を受けるのと安堵とやり甲斐を実感されるそうです。そして、この仕事の担い手が増えてくれることを切に願っているとのことでした。



保護司さんをお迎えして

西ブロック研修会

芳野地区 関根 真奈美
令和6年9月27日、飯能市にて開催された更生保護女性会ブロック



西ブロック研修会

ク研修会に参加。さいたま保護観察所、猪間所長による講義はともわかりやすく日頃から更女とは何か、と感じている私にとってその答えとなるようなものであった。戦後、犯罪が増え刑務所も増えていったなか執行猶予の事件も相次ぎ保護観察の進め方が大切となった。そこで少年法を支援しようとする一般人の人達から各地区に広まり「社会を明るくする運動」として今も更女の活動として取り組まれている。さらに更女に求められている事は、「立ち直りの支援」「初犯者をつくらない社会作り」その中には「子供の健全育成のため親への支援」が大切になってくるとのこと。更女として何をすべきか具体

県中堅会員研究協議会に参加して

名細地区 小嶋 茂代
令和6年11月15日(金)、さいたま共済会館にて開催され、参加致しました。

この研究協議会は、県内の地区更生保護女性会において中堅として活動中の会員を対象に、更生保護女性会活動を更に活発化するため、直面する課題について研究を深め、今後更なる発展を期することを目的とする会です。参加者は各地域の中堅として活動している会員で、地区に割り当てられた人数を地区会長が推薦した者とされています。

当日は、一般社団法人、日本更生保護女性連盟、事務局長大場玲子氏の「ナイフと花束」というテーマで講演を聴きました。伝えたい思いが伝わるためにどうしたらいいのか、いろいろな角度からお話を頂きました。手がかりとして

は、目から55%耳から38%言葉から7%の情報という研究が出ています。相手の感情に感心を持って聞くという傾聴がとても大切なようです。

今回の講演を聴いて改めて自身を振り返りこれからの対人関係に生かそうと思いました。

防犯並びに暴力排除推進大会

第6地区 田中 路代
令和6年11月18日(月)、やまぶき会館にて開催、参加しました。

第1部、挨拶、表彰に続き講話では、サギ騙しの手口等、犯罪に関わらないためにはまず、固定電話は留守電にして知らない番号には出ない！携帯へも支払い督促偽メール等を使う業界知能者の犯罪が多発する昨今ですから、犯罪者と安易に繋がらない事が重要です。そして、皆さんの日常生活の環境の中に身近にもっともっと私達警察を使って下さい！何かあったら直ぐに110臆せず#9110にご相談下さい、というお話しでした。

第2部では、県警察音楽隊の登場で、特に警察音楽メドレー西部警察、踊る大捜査線、古畑任三郎、太陽に吠えろ、相棒の演奏に拍手

喝采、会場の空気も一転し、エネルギー増し増しのひとときでした。

「犯罪者は、地元地域の皆さんの地道な防犯活動を一番恐れます。警察官の姿がチラチラする事も大きな犯罪の抑止効果に繋がりますので、どうぞ皆さんご協力頂けます様、宜しくお願い致します」の言葉が心に残りました。

少年受刑者と更生保護女性会の集い

大東地区 佐藤 つね子

11月19日、川越少年刑務所にて少年受刑者と更生保護女性会の集いに参加しました。

冷たい風の吹く朝、少年刑務所の迎えの車で向かいました。諸注意をうかがい不安な気持ちで面談室へ足を運びました。明るい部屋に15人の少年が、待つていました。挨拶、紹介後いよいよ面談の始まりです。3人を前に何を話そうか、まずはよろしく。先日参加した地区の運動会の楽しかった事、来年に向けての意気込み等、3人の思い出、走行方法、次会へ向けての意気込みについて、気軽に話し合いました。また生活について今後の事、勉強をしている事等話してくれました。こんなに素直で

明るい子が、どうして？とふつと頭をよぎりました。

待ち受ける社会を温かく見守る空間にしてあげられたら良いなと思います。

第71回 埼玉県更生保護大会

高階地区 斉木 弘美

令和6年11月27日(水)、埼玉会館にて、県更生保護関係者約1,000名が集い、盛大に開催されました。

講演は、落語立川流真打ち立川談慶氏、「落語に学ぶコミュニケーション」「一眼国、松山鏡」をご披露いただきました。

自分が苦手意識を抱いて相手に接したら、その相手はどんな態度をとるでしょうか？その時、相手から自分は見えるのでしょうか？と問われ、「相手は自分を写す鏡です！」と結ばれました。感慨深いお話しに納得反省です。

式典では、令和5年秋、令和6年春、秋の瑞宝双光章、藍綬褒章者のご披露に続き、表彰者に感謝状が贈られました。

大野県知事のご祝辞の中で、「現状として受刑者の約5割が再犯者。これからも息の長い援助が不可欠

です」とありました。残念な事であり、改めて更生の難しさ、支援を行なう大切さを感じた一日でした。

川越少年刑務所 視察研修に参加して

霞ヶ関地区 大野 明子

令和7年1月14日、川越少年刑務所施設に参観致しました。更生保護女性会員さんの誘いに少し戸惑いを感じながら、初めて施設参観に加えて頂きました。東京ドーム3個分という広い敷地に驚き、中に入りました。係の方のお話を伺いますと、16歳から26歳未満の男子の刑の確定した受刑者という事です。令和5年度集計に依りますと、財産犯として、詐欺、窃盗等が半分近くを占めている様です。最近のニュースの象徴だなあと感じました。館内の中での参観では運動場では、30人程が運動着姿でリレーをしている姿に、男子校の生徒と勘違いする自分でした。各作業所には、洗濯をしている人、自動車整備を行っている人、溶接を頑張っている人、各人が、施設内での方針に添える情操を育み、人間性豊かにする目的の行事が多く含まれている生活のようです。

端から見る限り、どの方も、作業に夢中になっている姿を目の当たりにして一日も早い社会復帰が出来る事を願わずにはいられません。ガンバレ。陰ながら応援します。



施設参観

活動の様子

7月18日、「社会を明るくする運動」として、川越駅でウェットインシュを配りました。

犯罪や非行を防止し、更生に理解を深め、各立場から支えていくとする運動です。

また、埼玉育児院では草刈り清掃等、サポートクラブのお手伝いをさせていただいています。

学習アドバイザー↑
炭火アイロン

↑ 埼玉育児院 除草 ↑

川越市立博物館
学習アドバイザー
石うす→社会を明るくする運動↑
川越駅西口

9月には、チャリティコンサートチケット購入に協力しました。博物館での「昔の道具を使う体験学習」では、炭火アイロン、石うすを体験する児童のサポートをしました。1月21日から2月27日まで、延べ57名の会員参加がありました。

「矯正展」への協力もさせていただきました。

受賞おめでとう

『第71回埼玉県更生保護大会』

令和六年十一月二十七日

埼玉会館にて

○関東地方更生保護委員会

委員長感謝状 新井 ハツ

○関東地方更生保護女性連盟

会長表彰 田中 幸子

○さいたま保護観察所

所長感謝状 村田美代子

小嶋 茂代

平野 京子

○埼玉県更生保護女性連盟

会長表彰 小谷野久子

谷内 正代

田中 路代

柳川 マイ

斉木 弘美

『川越市社会福祉大会』

令和六年十月三十日

やまぶき会館にて

○大会会長表彰

榎本千英子

新年会

2月7日、ラ・ボア・ラクテにて新年会が開かれました。

田中会長の挨拶に続き、来賓の川合市長(代読・福祉部長新井氏)よりおことばをいただきました。川越地区保護司会川越支部副支部長中村氏、副支部長佐々木氏のご臨席を賜りました。

ゲームと「愛をみんなで」を斉唱、和やかな会となりました。

ご出席下さった方々に

感謝申し上げます。

流委員の方々、

ありがとうございます。

ございました。



新年会

《愛の募金》

ありがとうございました

募金総額	502,900円
県更女連盟	125,000円
地区活動費	377,900円

上記の通りご報告致します。

会計 西村 雅子
新井 ハツ

愛の募金より図書費の贈呈

「愛の募金」にご協力くださりありがとうございます。

今年度は、鯨井中、山田中、川越第一小、川越小、中央小の5校に図書カードを届けさせていただきました。

皆様のご理解とご支援に感謝申し上げます。



中央小学校 愛の図書費贈呈



川越第一小学校 愛の図書費贈呈

編集後記

今年度は、活動の中に新しい試みもあり、発見もあったように思います。

発行にあたり、原稿や写真をご提供下さった皆さまに、心よりお礼申し上げます。

(福羅)

広報委員

西村・関根・小嶋

平野・福羅